

# 県営住宅におけるエレベーターの安全性・利便性の向上

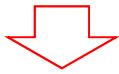
—エレベーター改修の取組み—

## 【事業概要】

- ・ 県営住宅では約30年前からエレベーターの設置を進めており、現在168基のエレベーターが稼働している。
- ・ 新たな安全基準への対応や、老朽化対策が必要となっている。

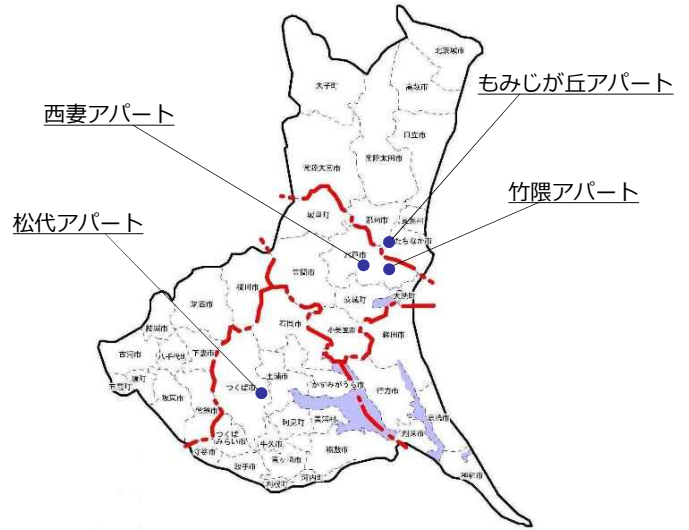


エレベーター改修工事による  
**安全性・利便性の向上**



**安全で安心できる豊かな暮らしへ**

## 【これまでの取組み(H29~R1)】



## 【改修例】

### マルチドアビームセンサー

- ・ 出入り口のほぼ全面にセンサーを設置
- ・ センサーを遮る物や人を検知した場合はドアが閉まらない機能



高齢者やベビーカー、車いす使用者の  
**安心感の向上**



### ドアシグナル

- ・ ドアの先端のLEDが、ドアが閉まる1秒前に点滅する機能



急にドアが閉まってぶつかる  
**事故の防止**



### 副操作盤・ハンドレール・鏡

- ・ 車いす使用者が利用しやすい、低い位置への副操作盤の設置
- ・ 体を支えるハンドレールの設置
- ・ 出入りの際の後方確認用の鏡の設置



車いす使用者の利便性の向上



## 【エレベーターの改修は節電にも貢献！】

### 1. 照明のLED化

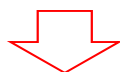
蛍光灯照明からLED照明への改修により約5割の消費電力削減

### 2. 照明の制御の変更

未使用時の自動消灯により、約5割の消費電力削減

### 3. エレベーター制御方式の変更

油圧式エレベーターから機械室なしロープ式エレベーターへの改修により、約8割の消費電力削減



**環境負荷軽減を図るとともに、豊かな暮らしを実現**

